



2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月15日

上場会社名 株式会社 A B E J A 上場取引所 東
コード番号 5574 URL <https://www.abejainc.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 C E O (氏名) 岡田 陽介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 C F O (氏名) 英 一樹 TEL 03-6387-9222
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第3四半期の業績 (2024年9月1日～2025年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	2,693	31.7	399	108.7	402	114.1	353	130.8
2024年8月期第3四半期	2,045	△2.6	191	△49.5	187	△50.0	153	△59.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	37.54	34.14
2024年8月期第3四半期	17.16	14.73

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第3四半期	4,896	4,359	89.0
2024年8月期	4,239	3,898	91.8

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 4,357百万円 2024年8月期 3,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00	—		
2025年8月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の業績予想 (2024年9月1日～2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,580	29.4	440	51.5	442	54.2	391	78.8	41.18

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 業績予想の修正については、本日 (2025年7月15日) 公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期3Q	9,723,100株	2024年8月期	9,260,900株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	79株	2024年8月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年8月期3Q	9,418,636株	2024年8月期3Q	8,924,481株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当社は「ゆたかな世界を、実装する」を企業理念に掲げております。この企業理念のもと、テクノロジーの産業界への社会実装を支援することにより、産業横断的なイノベーションを創出することを目指し、ミッションクリティカル業務へのAI導入支援のため、基盤システムとなるABEJA Platformの開発・導入・運用を行っております。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進むなか、国内景気には穏やかな回復の動きがみられます。一方で物価上昇、アメリカの政策動向、中東情勢等の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の事業環境としましては、ビジネスプロセスのデジタル化や既存のビジネスモデルを変える新たな試み、大規模言語モデル（Large Language Model：LLM）といった生成AIへの関心・利活用など取組みは広がりを見せ、企業のIT投資への意欲は引き続き強いものとなっております。今後は少子高齢化に伴う労働生産人口の減少、働き方改革を背景に、多くの企業においてその動きが一層活発化するものと捉えております。

このような環境の中、当社はミッションクリティカル業務における堅牢で安定的な基盤システムとアプリケーション群であるABEJA Platformを提供し、生成AIをはじめとする最先端技術による運用を人とAIの協調により実装してまいりました。

当第3四半期会計期間（2025年3月～5月）においても、LLM関連を注力領域として推進いたしました。これにより売上高は885,191千円、前第3四半期会計期間比42.6%増（同264,462千円増）と大きく伸長し、成長基調を維持しております。加えて、売上総利益率の改善や、販管費の適切なコントロールが寄与し、売上高・営業利益はともに想定を上回る水準で着地いたしました。

当第3四半期累計期間は、エンタープライズ企業向けの取組みと、公的プロジェクトへの参画を並行して進め、安定的な成長に繋げております。公的プロジェクトについては、複数が並行して進行しており、2024年10月から2025年4月にかけては、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構（NEDO）の「高性能かつパラメータを抑えた小型モデル」の研究開発に取り組みました。本プロジェクトでは、学習コスト1億円を上限に、低コストかつ高精度な3つの小型LLMを構築いたしました。あわせてエッジ環境における動作検証も実施し、現場利用に適した利便性の高い小型モデルとなっています。また、当社が共同研究開発機関として参画した日本語版医療LLMプロジェクトも、2025年3月に実施期間が終了しました。一方で、新たな公的プロジェクトもスタートしており、これまでの実績が評価され、取組みは着実に広がりを見せています。エンタープライズ企業との取組みにおいても、ユースケースの創出を含め、LLMの社会実装に向けた取組みは着実に進展しております。今後も継続的な改善に加え、企業や事業の状況を的確に捉えた質の高い提案を推進し、安定的な成長に繋げてまいります。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,693,143千円（前年同期比31.7%増）、営業利益399,582千円（前年同期比108.7%増）、経常利益402,110千円（前年同期比114.1%増）、四半期純利益353,583千円（前年同期比130.8%増）となりました。

当社はデジタルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

なお、売上高については、「トランスフォーメーション領域」と「オペレーション領域」に分類しており、2024年8月期及び2025年8月期第3四半期累計期間の実績は次のとおりとなります。

（単位：千円）

領域の名称	2025年8月期 第3四半期累計期間（実績）		2024年8月期 （実績）	
		構成割合		構成割合
トランスフォーメーション領域	2,104,066	78.1%	2,104,350	76.1%
オペレーション領域	589,076	21.9%	661,901	23.9%
合計	2,693,143	100.0%	2,766,251	100.0%

トランスフォーメーション領域は、顧客ニーズに対応したABEJA Platformの導入支援とその周辺サービスを提供しており、仕組みづくり・構築フェーズに位置づけられます。なお、仕組みづくり・構築は段階的に進めていくため、多くの収入はフロー型（都度契約）となりますが、一方で長期間にわたる計画的なプロセスとなるため、継続顧客の割合は高くなっております。

・継続顧客からの売上比率（注）81.2%（2024年8月期）

（注）継続顧客からの売上比率は、既存顧客（前事業年度に売上が発生した顧客）の当事業年度の売上高/当事業年度の売上高

オペレーション領域は、ABEJA Platform上で人とAIの協調による運用を行う運用フェーズに位置づけられます。このため、主な収入はストック型の継続収入となります。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期会計期間末の資産合計は、4,896,006千円となり、前事業年度末に比べ656,186千円増加いたしました。これは主に売上債権及び未収入金の回収により現金及び預金が1,374,330千円増加したこと、助成金の回収により未収入金が619,609千円減少したこと等によるものです。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債合計は、536,349千円となり、前事業年度末に比べ194,591千円増加いたしました。これは主に法人税等の計上により未払法人税等が44,640千円増加したこと、売上高増加に伴い未払消費税等が102,705千円増加したこと等によるものです。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産は、4,359,657千円となり、前事業年度末に比べ461,595千円増加いたしました。これは主に新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ54,881千円増加したこと及び四半期純利益の計上により利益剰余金が353,583千円増加したこと等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、当第3四半期累計期間における業績動向を踏まえ、2025年4月14日の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました2025年8月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2025年7月15日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,868,910	4,243,240
売掛金及び契約資産	452,836	359,722
仕掛品	5,450	3,001
貯蔵品	4,588	6,165
未収入金	685,223	65,613
その他	92,718	84,603
貸倒引当金	△738	△738
流動資産合計	4,108,988	4,761,608
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	14,288	26,821
減価償却累計額	△4,444	△10,420
工具、器具及び備品（純額）	9,843	16,401
有形固定資産合計	9,843	16,401
無形固定資産		
ソフトウェア	18,479	15,487
無形固定資産合計	18,479	15,487
投資その他の資産		
繰延税金資産	95,508	95,508
その他	7,000	7,000
投資その他の資産合計	102,508	102,508
固定資産合計	130,831	134,398
資産合計	4,239,819	4,896,006
負債の部		
流動負債		
買掛金	16	1,335
未払金	87,818	85,735
未払法人税等	1,696	46,336
賞与引当金	116,853	69,514
役員賞与引当金	—	26,584
その他	135,373	306,843
流動負債合計	341,758	536,349
負債合計	341,758	536,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	832,282	887,163
資本剰余金	2,615,859	2,670,741
利益剰余金	445,945	799,528
自己株式	—	△149
株主資本合計	3,894,087	4,357,283
新株予約権	3,974	2,373
純資産合計	3,898,061	4,359,657
負債純資産合計	4,239,819	4,896,006

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2023年9月1日 至 2024年5月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2024年9月1日 至 2025年5月31日）
売上高	2,045,401	2,693,143
売上原価	691,850	1,007,318
売上総利益	1,353,550	1,685,824
販売費及び一般管理費	1,162,067	1,286,241
営業利益	191,483	399,582
営業外収益		
受取利息	17	1,439
受取手数料	839	1,257
その他	573	954
営業外収益合計	1,430	3,651
営業外費用		
支払利息	240	—
為替差損	23	580
株式交付費	1,185	429
その他	3,682	114
営業外費用合計	5,131	1,124
経常利益	187,781	402,110
税引前四半期純利益	187,781	402,110
法人税等	34,600	48,526
四半期純利益	153,180	353,583

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2023年9月1日 至 2024年5月31日）

当社は、デジタルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2024年9月1日 至 2025年5月31日）

当社は、デジタルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	3,190千円	8,967千円